



地域住民間の交流・親睦を深めるクラブ

稲穂ファミリースポーツクラブ ＜山形県鶴岡市＞

日本体育協会が掲げる総合型クラブの基本理念「スポーツを核とした豊かな地域コミュニティの創造」を実現するためには、地域づくりまでも視野に入れ、スポーツの楽しさや喜びを拡充・普及させる公益的な活動を行い、地域から信頼される組織となることが重要です。そのためには、地域住民のニーズにあった各種事業を実施することによって、当該地域におけるクラブの存在感を高め、信頼感・親近感を得ることを目指す取組が求められます。

そこで今回は、地域住民間の交流・親睦を深める取組を行っているクラブを紹介します。



ここがポイント!

- ① 会員間の交流を深めるために、多種多様なイベントを開催
- ② 自分たちのクラブハウスを設置し、世代を超えて交流を深める
- ③ スタッフも役割分担をし、得意分野で力を発揮

1 クラブ概要

スポーツ少年団（昭和45年4月結成）の育成母集団活動から総合型クラブに発展。「いい汗流そう われらスポーツ家族」を合言葉に、家族みんなで参加し、家族一人ひとりが定期的にスポーツを楽しみ、そしてみんなの知恵を出し合い、お互いに支え合い、運営するスポーツクラブです。スポーツ少年団は「子どもたちが主役」でしたが、クラブは「家族みんなが主役」ということで、「三世代で参加するスポーツクラブ」を目指しています。

2 交流・親睦を深めるための取り組み

クラブでは、4つの活動を柱に、以下の活動を行っています。

■ 4つの活動の柱

- ① 仲間づくり ② 体力づくり ③ 自然とのふれあい ④ 交歓交流

■ 事業内容

- ① サークル活動（定期的な活動）
- ② 会員交流イベントの開催
- ③ スポーツ少年団・リーダーの育成
- ④ 教室の開設
- ⑤ 誰もが参加できる「元気いっぱいスポーツ広場（通称：ファミリー）」の開設
- ⑥ クラブハウスの運営
- ⑦ ボランティア活動
- ⑧ 市、地域活動との連携協力
- ⑨ その他、いろいろな活動

「② 会員交流イベント」は様々な内容のものを開催しています。

平成28年度開催内容

- 5月 元気いっぱいグランドゴルフ大会（春）、天神祭大絵馬パレードへ参加
- 6月 あねちゃカップ女子サッカー大会
- 7月 稲穂杯ゴルフ大会（夏）
- 8月 赤川花火大会観戦及び翌朝花火大会会場清掃協力
- 9月 稲穂杯ソフトボール大会
- 10月 東日本大震災被災地支援活動第9回目・東松島町仮設住宅敬老会支援、
元気いっぱいグラウンドゴルフ大会（秋）、
モンテディオ山形応援ツアー・前座試合参加（中学生）
- 11月 稲穂杯ゴルフ大会（秋）、ソフトバレーボール大会
- 12月 ファミリー大運動会、会員大交流会、ボウリング大会
- 1月 新年会・せんべい釣り大会、新春羽黒山2246段石段登り初詣、マーじゃん大会、
新春フットサル大会、バドミントン大会
- 3月 ミニサッカー大会



3 会員交流のための様々な工夫

(1) 運営の工夫

クラブの運営は会長、クラブマネジャー、9名のサブマネジャー含め役員が54名おり、イベントの担当やサークルの運営、事務局担当などそれぞれ役割分担しています。また、いろいろな職業の人がいて異業種交流もでき、得意分野でその力を発揮してもらっています。

(2) クラブハウスは魅力いっぱい

昭和61年11月に設置したクラブハウスは、会員のみんながお金を出しあって借りているものです。指導者、事務局の仕事場として、スポーツ少年団員の勉強の場として、会議・反省会・交流会の会場として、会員はいつでも自由に使えます。また、毎週水曜日夜は「わいわいがやがや亭」として会員に開放しており、まさに世代を超えての活動拠点になっており、クラブハウスの力は大きいです。

(3) 一番のイベント

12月に実施している「会員大交流会」は、地域のコミュニティセンターホールを会場に、日頃お世話になっている方々もご案内し、毎年100人を超える参加者で交流を深めています。みんなで「四季の歌」を歌ってスタートし、出し物、プレゼント交換などをし、会の最後にはキャンドルサービスを行います。

(4) 被災地支援も継続して

平成23年3月11日に発生した東日本大震災の被災地支援活動を毎年継続し、平成23年に3回(石巻市に炊き出し)、平成24年に1回(南三陸町仮設住宅団地の夏まつり支援)、平成25年に2回(夏まつり支援とサッカー少年団を招いての合同夏合宿)、平成26年に1回(サッカー少年団を招いての合同夏合宿)、平成27年に1回(宮城県東松島市仮設住宅団地の敬老会支援)実施し、今年度も10月15日に昨年に引き続き敬老会支援を実施します。

(5) 手作り料理と500円ワンコイン

イベントやサークルの交流には懇親会が付き物です。中には会費は500円ワンコインで、プラス500円程度の手作り料理を一人1品持ち寄りで幹事の負担を軽減しているサークルもあり、みんなで楽しめるように様々な工夫をしています。

(6) 会計について

年間予算は822,500円ですが、主な財源はクラブ年会員の会費(一家族、年6,000円)で、支出はクラブハウスの管理費と通信費、コピー機などの事務費等です。また、このほかに、所属するサークルやイベントの参加費は各自負担としており、それぞれのサークル等の会計についてはそれぞれ独自に処理をしています。

4 課題と展望

クラブのスポーツ活動の場所は小・中学校の体育館やグラウンド、武道場、そしてクラブハウス・空き地などであり、活動内容にも限りがあります。まだまだ地域には、健康づくりや生きがいづくりのためにスポーツをやりたい、お金を出してクラブに入りたい、仲間といっしょに活動したいという人たちも多くいると思いますので、そのためにも、更にクラブの魅力づくりに取り組み、クラブの存在をPRし、学校・地域等との連携を深めて、仲間を増やしていきたいと思っています。

5 会員の声

- 私の子どもは男の子4人で皆スポーツ少年団に所属しました。私も通算10年間スポーツ少年団とともに活動しましたし、子どもの成長を見ながら、いろいろな親子の活動も、親同士の活動も大変楽しかったです。それ以来、「ソフトボールクラブ」や「けやき元気村」の活動、そして、グラウンドゴルフ大会などに今も参加しており、37年間も係わっています。気の合う人たちとの活動は楽しいです。(76歳 男性)
- 子どもがスポーツ少年団に入団してから12年になります。子ども2人は高校生になり、部活動のサッカーをしながら、リーダーとして継続して活動しています。私もクラブのママさんサッカーチーム「ママダチー」と「元気いっぱいスポーツ広場」、そしていろいろな交流イベントに参加しています。親子三代、家族みんなで楽しんでいます。(43歳 女性)

(稲穂ファミリースポーツクラブ)
クラブマネジャー 村田 朋子)



日本スポーツ少年団リーダー制度とは？

メールマガジン114号の特集「知って、連携！日本スポーツ少年団リーダー制度」にて解説しておりますので、ぜひご覧ください。

➔ http://www.japan-sports.or.jp/Portals/0/data/kurabushien/MM114_H26_leader.pdf



育成母集団とは？

「育成母集団」という名称は、日本スポーツ少年団が独自に使用している名称ですが、単位団活動を支える“母体になる集団”という意味で、母親たちの集団ということではありません。スポーツ少年団は、生涯にわたってスポーツを楽しむことができる地域クラブを目指して活動する団体ですから、単に子どもたちだけの集団ではなく、やがては大人も含めた地域集団の形成を目標としています。

したがって育成母集団は、子どもたちの財政面・労力面・精神面で支援するばかりでなく、地域に住むすべての大人自身もスポーツや文化活動を楽しむことができるシステムを地域に形成しようとする、極めて重要な意味と役割をもっているのです。

育成母集団の役割

- ・スポーツ少年団に対する支援、協力活動
- ・スポーツ少年団活動への理解を広め、加入促進をはかる活動
- ・育成母集団自身のスポーツや文化活動
- ・育成母集団活動への理解を広め、仲間を増やす活動

クラブプロフィール

設立年月日：平成18年1月29日

所在地：山形県鶴岡市

運営：会員数：家族会員120家族（平成27年度）
予算規模：822,500円（平成28年度）

有給職員：なし

特徴：今から47年前の昭和45年4月に「稲穂スポーツ少年団」が結成され、昭和53年から始まった日本スポーツ少年団第5次育成5ヵ年計画に、「すべてのスポーツ少年団に育成母集団を」・「育成母集団のための活動を」が織り込まれました。その呼びかけに応じた活動を行い、団員も小学生で終わらずに、中学生・高校生もリーダーとして育成し、リーダーの親もまた、育成母集団の会員として継続参加している人も多いです。親子サッカーやファミリー運動会など年数回の親子いっしょの活動も継続しており、そして「親も定期的にスポーツをしたい」と始まったのが、毎週金曜日夜に小学校体育館で行う、会員が誰でも参加できるスポーツ広場（通称：ファミリー）の活動です。この活動も36年間続いています。その後、そこから活動は広がり、親と指導者でのソフトボールチームやサッカーチーム、ママさんサッカーチームなどができ、今も様々な大会に参加しています。また、リーダーの育成においては、これまで、日独スポーツ少年団同時交流派遣事業に、シニアリーダーとして高校生・大学生、指導者も含め19名が参加しています。

■ 連絡先

郵便番号	997-0021
住所	山形県鶴岡市宝町4-73 クラブハウス「稲穂会館」
TEL & FAX	0235-24-8758
Eメール	inaho-turuoka@nifty.com
ホームページ	http://homepage3.nifty.com/inaho/